

# ビジネス倫理規定



# グループ内相互関係および利害関係者との関係を規定する、基本グループ方針および指令に関する概要

詳細および特定の分野の行動に関連する付加的な規則は、[グループ原則](#)<sup>1</sup> や[グループ指令](#)<sup>2</sup>、および各部署の指示書に記載されています。

<sup>1</sup> グループ方針:

[http://internal.ericsson.com/page/hub\\_inside/company/management\\_and\\_control/group\\_policies/index.jsp](http://internal.ericsson.com/page/hub_inside/company/management_and_control/group_policies/index.jsp)

<sup>2</sup> グループ指令:

[http://internal.ericsson.com/page/hub\\_inside/company/management\\_and\\_control/group\\_directives/index.jsp](http://internal.ericsson.com/page/hub_inside/company/management_and_control/group_directives/index.jsp)

# 目次

社長からの手紙	4
指針	5
順守責任	6
違反の報告	6
敬意を持って従業員に接し、人権を守る	7
法律、規則および規範の順守	8
通信機関および財政情報	9
利害の衝突への対処	10
企業資産の保護および適切な使用	12
情報保護	13
環境保護	14
責任ある企業市民としての義務	15



## 代表取締役からの手紙

拝啓:

エリクソンの営業方針を常に特徴付けているのは、誠実さおよび倫理的価値観です。信頼性および誠実さなどの価値観は、エリクソンの企業文化に深く根ざしています。私たちは、職場内および利害関係者との間で良い関係を保つことを非常に重視しています。確固とした誠実で倫理的な振る舞いによって、顧客からの継続的な信頼を得ています。

すべての従業員は、ビジネス倫理規定で要約されている規則や指針を意識し、従う必要があります。ビジネス倫理規定を読み、通常業務において規定を適用することによって、エリクソンのビジネスが規定に調和していることの確証に寄与するという、個々の責任を果たすことになります。

Carl-Henric Svanberg  
代表取締役・最高経営責任者  
2006年5月

# 指針

エリクソンは、営業方針において最高レベルの誠実さと倫理的価値観を守る責任に同意しています。エリクソンの営業方針を常に特徴付けているのは、誠実さおよび倫理的価値観です。誠実さの強い意識を持って行動することは、顧客、パートナー、従業員、株主および他の利害関係者との信頼関係を維持するために非常に重要です。

営業方針が透明な環境を作ることは、当社の最優先事項です。当社のビジネス倫理規定は、取引および市場とのコミュニケーションにおいて、正直さと信頼性を持って振る舞うことに関する私たちの約束事です。

この規定で定められた原則に沿って会社が運営され、取締役会や経営管理チームのメンバーから各従業員に至るまで、すべての人がこれらの基準を満たす責任を認識することを期待しています。

当社のビジネス倫理規則には、個人や同僚としての責任、および雇用者、顧客、納入業者、株主やその他の利害関係者への責任に関する次のような規則があります。

- 法律、規則および規制 (インサイダー取引に関する法律を含む) の順守
- 顧客やベンダーの機密情報や専有情報の保護
- 企業資産の保護および適切な使用
- 敬意を持って従業員に接し、人権を守る
- 利害の衝突への対処
- 完全、公平および正確で、時宜を得た分かりやすい財政報告およびその他の公開報告を推進
- 環境保護
- 法律に反する、または倫理に反する行動の報告をサポートする



## 順守責任

エリクソンの社員すべては、この規定を読み、従うこと、および該当する法律やエリクソンのグループ方針や指令に従うことが要求されています。それを怠ると、民事責任や刑事責任を科せられたり、雇用の終了などの懲戒処分を科せられることがあります。

管理者には、付加的な責任を求めています。管理者は、規定を順守することの重要性を行動によって示している必要があります。模範を示してリーダーシップをとることは非常に重要です。これにより、倫理的な疑問を持った従業員が助言を求めたり、違反の可能性について報告するようになるからです。

管理者は、この規定が適切な懲戒処分を通して実施されることを確認する必要があります。管理者は、非倫理的な行為に対して目をつぶるようなことがあってはなりません。

このビジネス倫理規定の権利放棄は状況によって許可されますが、非常に特殊な場合のみです。従業員に対するこの規定の権利放棄は、Group Management Team (グループ管理チーム) によってのみ決定されます。役員、CEO または財政報告責任を持つ高官に対するこの規定の権利放棄は、役員会または取締役会の関係する委員会によってのみ決定されます。

## 違反の報告

法律やビジネス倫理規定に違反すると思われるどんな行為についても、誠意を持って、上司または地元で制定されている方法に従って報告することが期待されています。上司が報告したい状況に関わっていたり、上司が適切に取り組むことができない場合は、さらに上位の管理者または地域で制定されている方法に従って報告することが求められています。管理者は、グループ倫理や価値観および地域の法律や法的義務に従って、問題に真剣に取り組み、満足のいく方法で解決できるように努めることが期待されています。

問題のある会計や会計監査に関する懸案事項は、**Reporting Violations (内部における違反の報告)**<sup>1</sup> で定められている内部告発に関する手順に従って報告する必要があります。この会計関係の懸案事項には、会計担当の関係者または監査管理責任者などによって行われた会計、内部会計統制、および会計監査に関する違反と疑われる行動が含まれています。

エリクソンは、善意で違反疑惑を報告した従業員に対する差別や報復を認めません。

<sup>1</sup> [http://internal.ericsson.com/page/hub\\_inside/support/security/incident\\_reporting/rep\\_viol.jsp](http://internal.ericsson.com/page/hub_inside/support/security/incident_reporting/rep_viol.jsp)



# 敬意を持って 従業員に接し、 人権を守る

人権保護、および公平な雇用条件、安全職場環境、環境問題や高い倫理基準の責任ある管理を促進する目的で、生産、供給、エリクソン製品のサポートおよび世界各地のサービスに対して当社の行動規範が適用されます。

エリクソンに勤務する者はすべて基本的な人権を守る権利を持ち、どんな形であれ仕事によって身体的または精神的苦痛を強制されるべきではありません。すべての従業員が平和的また合法的な形式で、自分の選択によって交友関係を築く自由を持つこと、および団体行動をする権利を持つことを勧めています。エリクソンは、児童労働を認めません。

従業員は、人種、肌の色、性別、性的指向、婚姻関係、妊娠、子ども、宗教、政治思想、国籍、民族的背景、出身、社会的身分、障害、年齢や組合などのために差別を受けるべきではありません。

すべての従業員は、自分の雇用の雇用条件について知っている必要があります。エリクソンは、同じ経験、能力および資格を持つ従業員が行う、同様の作業環境で同じ作業が関係する仕事に対しては、すべての従業員が同等の給料を受けることを求めています。

従業員の健康および作業環境の安全は、常に最優先事項であるべきです。これは、化学薬品の分類や取り扱い、騒音レベル、気温、排気、照明および衛生設備の質と利用を含む、作業環境のすべての側面に適用されます。

エリクソンは、人権、労働条件、環境管理および腐敗防止を包含する、国連のグローバルコンパクト (United Nations Global Compact)<sup>1</sup> のイニシアチブを支援しています。この責務を従業員、納入業者、顧客およびその他の利害関係者に明らかにするため、グローバルコンパクトの10の原則に基づいてビジネス倫理規定を定めており、この規定はエリクソンの [Web サイト](#)<sup>2</sup> でも一般に公開されています。

納入業者およびその下請業者は、ビジネス倫理規定を順守し、順守を証明する必要があります。

<sup>1</sup> <http://www.unglobalcompact.com>

<sup>2</sup> [http://www.ericsson.com/ericsson/corporate\\_responsibility/society/code\\_conduct.shtml](http://www.ericsson.com/ericsson/corporate_responsibility/society/code_conduct.shtml)



## 法律、規則および規制の順守

エリクソンは、エリクソンの営業に関係するすべての法律および規制を順守します。エリクソンの業務に関係すると、多様な法律上の問題に直面することがあります。各従業員は、関係する法的要求やその他の法的問題について、適切なアドバイスを求める責任があります。

**国際的な商取引においては**、関係する国際ビジネスに特定の法律や規制が適用されます。外国の商取引に関係する従業員は、該当するすべての国外および国内の法律や規制に通じており、それらを順守する必要があります。国際商取引案件に関係するエリクソンの従業員は、例えば該当する輸出入規制、反不買運動条項、禁輸および制裁などについて意識している必要があります。

**独占禁止:** エリクソンは、公平な競争を促進することに専念しています。公平な競争は、ビジネスの発展と革新の基本条件です。すべてのエリクソンの従業員は、エリクソンが活動する各国の法律を順守しつつ、自由市場においてできる限り積極的また前向きに競争を行います。独占禁止法は、Group Function Legal Affairs (グループ法務機関) と連携して扱われる必要があります。Group Function Legal Affairs (グループ法務機関) の機能は、裁判所やその他の当局が関係したり主導したりする際に、管理と調整を行う責任を担っています。

**会計および財務報告:** エリクソンは、厳しい会計原則および規準に従うことを要求されています。また、正確かつ完全な財政情報を報告し、適切な内部管理と処理を行って会計および財政報告に関する法律、規制および上場基準に従う必要があります。従業員は、この分野で最善を尽くしてエリクソンの取り組みをサポートする必要があります。

**インサイダー取引:** すべてのエリクソンの従業員は、該当するすべてのインサイダー取引および株転換規則や規制を順守して行動します。

直接的であれ間接的であれ、エリクソンを含む株式公開企業の株や証券を売買することは許可されていません。企業に関する内部情報を持っていたとしても、エリクソン内外の人 (家族、友人、同僚、エリクソンでの職務の効率にそうした情報を必要としない第三者) に内部情報を開示することは許可されていません。

「内部情報」は非公開情報のことで、関係する株式や証券の取引額に著しく影響する情報です。



## 通信機関および財政情報

自分の所属する部署の経営状況や財政状況をよく理解し、業務の向上への貢献度を上げていくことは重要です。これは、エリクソンの財政状況開示方針と法的要求との間のバランスを保つ必要があります。これらの法的要求は、証券取引場や証券の監督官庁のインサイダー規則、上場規則や報告規則などの枠組みによって指定されています。これらの要求を満たすというエリクソンの義務は、株式価格に影響を与える重要な情報を処理する方法を左右します。財政状況および見通しに関する外部へのコメントは、スポークスパーソン指令部によって公認され、Group Function Communication (グループ コミュニケーション機関) によってサポートされる活動と協力する、公式のスポークスパーソンによってのみ行われます。

公認のスポークスパーソンは、対外的にエリクソンを代表する務めがあります。従業員は、Group Function Communication (グループ コミュニケーション機関) からの承認なくして、会社のために、エリクソンやその他のメディア、投資家、財政や産業アナリスト、外部コンサルタント、インターネットのチャット ページや掲示板に対してコメントすべきではありません。

財政報告に関係する従業員は、政府機関、当局および公開通信機関にエリクソンが報告や書類を提出または送信する場合、常に完全、公平、正確、時宜を得て分かりやすい開示を行う必要があります。



# 利害の衝突への対処

エリクソンでは、個人的な情実や関係ではなく、グループの最善の利益に基づいて経営的意思決定を行います。何らかの状況が妨げになるときに利害の衝突が発生し、利害の衝突はエリクソンの最善の利益に関する経営者の独立決定に影響を与えます。個人的な利害とグループの利害が衝突したり、見かけ上衝突するような状況避ける必要があります。

以下は、特別注意すべき状況の例です。

**ビジネス機会:** エリクソンでの業務で発見したビジネス機会であっても、エリクソンの利害に反する場合は、そのビジネス機会をとらえることはしません。エリクソンの資産や情報、またはエリクソンでの立場を利用して個人の利益を追求してはいけません。

**その他の雇用:** エリクソン外部での雇用は、報酬の有無に関わらず、エリクソンでの業務遂行能力に影響を与えないようにする必要があります。エリクソンでの責任のための時間や注意を奪ったり、エリクソンでの勤務時間に業務を必要とする外部の事業活動に参加することはできません。潜在的な利害の衝突を避けるため、エリクソンの電子通信組織、供給業者、請負業者、代理店、顧客、競合業者からの雇用を受け入れるべきではありません。

**重役資格と外部組織への加入:** 利害の衝突を生む場合は、営利法人や政府機関の理事会や同様の立場で活動することは許可されていません。これらの活動については、あらかじめ上司に承認を受ける必要があります。非営利組織や地域組織の理事会での活動については、エリクソンの利害に対する潜在的な衝突がない限り、あらかじめ承認を得る必要はありません。

**政治活動:** エリクソンは、政党や政治委員会および政治家に対して、献金や支払いをしたり、直接的または間接的に支援することはありません。エリクソンを代表したり、企業資金や企業資源を使用することによって、政治献金を行うことはありません。

**贈り物、便益、補償および接待:** エリクソンの従業員は、法律違反またはエリクソンや外部組織に対する個々の仕事や作業の能率における専門的な判断に影響したり、見かけ上影響することのある部外者との間で贈り物、便益、補償および接待を提供したり、受けたりすることはありません。

**賄賂、見返りなど:** すべての種類の賄賂、見返り、その他の違法または非倫理的な便益を、エリクソンや外部組織の従業員、代表者または同僚に対して直接的または間接的に要求したり、受け入れたり、提供したり、与えたりすることがあってはなりません。このような事柄に関する申し出や申し入れについては、速やかにグループ責任者に報告する必要があります。

**利害の衝突の公開:** エリクソンは従業員に対して、利害の衝突をもたらす十分な可能性がある状況や取引について公開することを求めています。利害の衝突をもたらす取引や協定、またはその他の合理的に利害の衝突と見なせる状況に関係している疑いがある場合は、上司か Group Function Legal Affairs (グループ法務機関) に報告する必要があります。上司および Group Function Legal Affairs (グループ法務機関) は、その従業員と協力して利害の衝突があるかどうかを特定し、実際に見られる場合には最善の対処方法について決定します。利害の衝突をもたらす取引や協定がすべて自動的に禁止されるわけではありませんが、上層部経営陣の役員などの特定の個人にとっては、そうした取引や協定が望ましいものではないことは明らかです。問題のある取引や協定は、取締役会の監査委員会または株主総会で承認を得る必要があります。



# 企業資産の保護 および適切な使用

エリクソンは、物的資産、専有情報および知的財産などの広範囲におよぶ資産を所有していません。従業員は、委ねられたエリクソンの財産を保護し、エリクソンの資産全般の保護を援助する責任があります。このためには、エリクソンのセキュリティ指令に意識し、理解する必要があります。エリクソンの財産の損失や損失の危険性に気づいた場合は、できる限り早くセキュリティ担当部署や上司に警告を発したり、報告したりする必要があります。

以下に、情報、通信システム、知的財産の内部および外部における取り扱い方法について説明します。

**知的財産:** 知的財産には、コンピュータ プログラム、技術文書や創案などの多様な財産が含まれています。特定の知的財産は、著作権、特許権、商標権などによって特別に保護されていることがあります。

知的財産はエリクソンにとって最も価値ある資産であり、正当な注意を払って取り扱う必要があります。これらの価値ある資産を保護するために必要な対処法についての指示に従ったり、方法が明確でない場合は指示を求めたりする必要があります。

従業員が業務において作り出した知的財産については、法律、雇用契約その他の協定によって権利はエリクソンに委譲されます。国際協定、法律およびエリクソンと従業員間の協定で特別に規定されている場合は例外です。

**エリクソンの通信システムの使用:** インターネット接続を含むエリクソンの通信システムは、エリクソンの業務を扱う目的で使用する必要があります。またその他の付随的な目的で使用する場合でも、上司、該当するグループ指令や該当する指示によって承認されている必要があります。割り当てられているパスワードや暗証番号の取り扱いについての指示には、常に従う必要があります。

エリクソンの通信システムの容認できない使用としては、不正、嫌がらせ、脅迫、違法、人種、性、わいせつ、威圧、中傷やその他の職務に適合しない資料や情報を処理、送信、取得、アクセス、表示、保存、印刷または普及する行動が含まれます。

**エリクソンの退職時:** 書類やエリクソンの専有情報を含むメディアを含む、すべてのエリクソンの資産を返却する必要があります。エリクソンの機密情報の取り扱いや公開に関する制限に引き続き従う必要があります。



# 情報保護

## 顧客やベンダーの機密情報や専有情報の保護

エリクソンの従業員は、エリクソンの所有する情報および状況によっては他社が所有する情報にアクセスすることができます。こうした情報には、財務情報、事業計画、技術情報、顧客や従業員に関する情報やその他の情報などが含まれます。許可なくしてアクセス、使用および公開を行うことは、エリクソンや他社に損害を与えることになるため、従業員は適切な承認を与えられない限り、こうした情報にアクセス、使用および公開を行うことは許可されていません。承認を受けているか明確ではない場合は、指示を求める必要があります。

以下に、エリクソンの情報保護を促進するための規則を列挙します。

1. エリクソンによって公開されていない情報は、以下の例外を除き、他の人に公開できません。
  - (i) エリクソンで業務を行っている人が業務において同様の情報を所有しており、自分の持つ情報を知る正当な理由がある場合
  - (ii) その人がそのような情報を受けることをエリクソンから承認されている場合
  - (iii) 業務によって、そうした情報を与えてしまう場合
2. エリクソンでの業務や作業に関係しない専有情報にアクセス、複製、複写または使用することはできません。
3. 機密情報の不正使用や不正な扱いが発覚した場合は、直ちに上司に報告して、エリクソンの機密情報を守るために全面的に協力する必要があります。
4. エリクソンの情報を個人のコンピュータやエリクソンによって提供されたのではないメディアに保存することはできません。
5. 業務の遂行のために情報をエリクソンの敷地外に持ち出す必要がある場合、外部での作業が完了したら情報を返却する必要があります。自宅や他の場所に情報を保管しておくことはできません。



## 環境保護

環境問題は、エリクソンや利害関係者にとって重要な分野の一つであり、エリクソンは長年にわたって環境への影響を最小限に抑えるために積極的に活動してきました。エリクソン グループの主な環境目標は、製品のエネルギー消費を低減し、市場で最もエネルギー効率の高い製品を顧客に提供することです。

環境管理システムは、ISO 14001 に基づいており、Ericsson Group Management System (エリクソン グループ管理システム) によって統合されています。エリクソンの全面的な環境実績は、Group Environment Policy (グループ環境方針) に組み込むことによって達成されています。この方針はエリクソンに以下のことを求めています。

- 従業員すべての間での環境への意識を高める
- 継続的に環境実績を向上する
- 法的な環境要求を満たし、水準を上回る
- 運営ツールとしてリサイクル技術を使用する
- 「環境適合設計」を使用して、実際の結果を達成する
- サプライチェーンに協力して、環境リスクを避ける
- 利害関係者と積極的に意見を交わし、建設的な意見を得る

環境問題を専門的な方法で扱い、より良い持続可能な社会を作り出すことを促進する提案をエネルギー削減産業部門が行うことのできる、エリクソンの生来のビジネス機会を成長させ遂行していくことは、従業員各自の責任です。



## 責任ある企業 市民としての義務

どこで業務を行う場合であっても、常に責任ある企業市民である必要があります。このためには、社会的および環境的問題に敏感であり、利害関係者の問い合わせに対して適切かつ正確な対応を行うことが求められます。

エリクソンは、通信業界の世界的なリーダーとして、当社が提供する製品やサービスが社会に大きな便益をもたらす可能性があることを確認しています。同時に、社会的および倫理的に責任ある仕方で行動することも重要です。世界中で生産、製品サポートやサービスに携わっている関係者に関心を持っています。生産性の向上、エリクソンが活動する社会における環境への影響の低減に努めていきます。

エリクソン ブランドが、人権の尊重、公平で安全な職場環境および環境面で健全なビジネス手法をしていることなどを常に連想させるようにすることも重要です。

エリクソンは、人権、労働条件、環境管理および腐敗防止を包含する、国連のグローバル コンパクト (United Nations' Global Compact)<sup>1</sup> のイニシアチブを支援しています。

<sup>1</sup> <http://www.unglobalcompact.com>

エリクソンは、引き続き技術リーダーシップをとることにより、モバイルおよびブロードバンド インターネット通信の未来を形作ります。

140 以上の国で革新的なソリューションを提供して、エリクソンは世界で最も強力な通信企業を形成しています。